

平成 21 年度 事業報告書

 財団法人 札幌市環境事業公社

目 次

平成 21 年度事業の総括	3
I 調査啓発事業	
1 調査研究事業	4
2 普及啓発事業	4
II 資源化事業	
1 びん・缶・ペットボトル選別事業（一部受託業務）	5
2 ごみ資源化工場施設管理事業（受託業務）	7
3 大型ごみ収集センター管理運営事業（受託業務）	9
4 剪定枝等処理事業	10
5 札幌市リサイクル団地管理事業（受託業務）	11
6 中沼プラスチック選別センター施設管理事業（受託業務）	12
7 中沼雑がみ選別センター施設運営管理事業（受託業務）	14
8 不燃用プリペイド袋リサイクル事業	15
III 収集運搬事業	
事業系ごみ収集運搬事業	16

平成 21 年度事業の総括

札幌市環境事業公社は、資源循環型社会の推進を図ることを基本理念とし、また、札幌市の廃棄物処理行政の一翼を担う公益法人（特例民法法人）として、事業系ごみを中心とした都市廃棄物の適正処理・リサイクルにおける中核的役割を果たすことで、地域の発展や環境の保全に貢献するために、積極的に事業に取り組んできた。

しかしながら、長引く景気の低迷により、受託事業においては札幌市からの委託費は縮減されており、さらに、収集運搬事業は、排出事業者の経費節減のための圧縮機の導入及び分別・リサイクルの取り組みを行うことで、ごみの比重が上昇し、厳しい事業運営を強いられてきている。

このような状況の中で、平成 21 年 1 月からの札幌市のごみ処理手数料の改定に伴い、4 月には事業系一般廃棄物収集料金の改定を行ったところである。また、7 月からの家庭ごみ有料化の実施にあわせて、新たな分別である雑がみ収集に係る「中沼雑がみ選別センター」の総括管理を市から受託し、事業の円滑な推進に寄与している。

家庭ごみの有料化については、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」が有料となったものの、びん・缶・ペットボトルの資源物や容器包装プラスチック、雑がみが無料となったため、資源物の排出が増加した。当公社が総括管理を受託している各選別施設は、7 月以降、平成 22 年 3 月末までの前年同期比で見ると、びん・缶・ペットボトルは 16%増、容器包装プラスチックは 32%増と処理量は増大したが、運転時間の延長や土日稼働の実施、人員配置の増などにより対応することで、特に大きな混乱もなく、家庭ごみの資源化推進に貢献しているところである。

また、当公社の主要事業である収集運搬事業においては、ごみ収集量は、対前年度比で、重量ベースで 2.5%の減少、容積ベースでは 6.5%の減少となったものの、料金改定や全体的な経費の節減で、良好な決算を得ることができた。

分別収集については、固形燃料の原料となる資源化ごみ、飼料や堆肥の原料となる生ごみ収集も、排出事業者の協力を得て、全収集量に対する資源化率は 23%を維持している。

一方、平成 15 年 10 月に認証を取得した ISO14001 については、平成 21 年 7 月には 2 回目の更新審査を経て、より一層環境負荷の低減に向けて事業の推進を図っている。

今後とも、各事業の推進にあたっては、より一層の効率化を図るとともに、職員の意識改革、顧客満足度の向上、積極的な情報発信などに取り組んでいきたい。

また、篠路清掃工場の稼働休止にあわせた事業の推進についても、十分な検討を進め、市民、事業者の多様化・高度化する社会的ニーズに適切に対応してまいりたい。

I 調査啓発事業

決算額 23,224,899 円

1 調査研究事業

(1) 資源ごみの調査

平成21年7月から家庭系ごみが有料化になったのに対して「びん・缶・ペットボトル」は無料収集であり、そのことを起因として分別意識が更に高まり、結果として平成21年度の家庭系「びん・缶・ペットボトル」の収集量は前年度比14.7%の増加となった。

平成21年10月に行った組成調査結果においては有料化前の結果と大きな変化は無いことが判り、当初想定した組成変化によるプラント設備のトラブルは回避された。

しかしながら、今後搬入量増加によるトラブルも想定されるため、引き続き選別施設として最大限の機能を発揮するための総合的な対策を検討する。

(2) 燃料化事業の新たな原料の研究

ごみ資源化工場では、RDFの原料となるごみは年々減少しているところであったが、平成21年7月から雑がみの収集が始まり、その雑がみ選別センターから残渣紙や残渣プラが再搬されており、木くず搬入が減少しているため、紙とプラを原料としたRPFの生産を行った。

現有施設でのRPF生産は数々の問題点があるが、対策を取りながら今後もRPFの生産を継続する。

(3) 剪定枝チップの有効利用の研究

剪定枝チップの大部分は堆肥原料として売却しているが、バイオマス燃料として熱供給事業者へ平成21年5月より試験搬出を行い、現在では毎月60t前後をボイラー燃料として使用している。

2 普及啓発活動

市民及び事業系ごみ収集運搬事業の顧客に対して、公社事業の理解を得るため、その役割や成果等について、事業概要等での情報発信及び各種イベントへの参加等で普及啓発活動を行った。

(1) 事業概要等の発行

ア 公社の事業方針・事業内容及び実績を中心とした「事業概要」を、8月に発行した。

イ 公社の事業内容を紹介するパンフレット「事業案内」を改訂し発行した。

ウ 公式ホームページを適宜更新し、最新情報の発信を行った。

エ 事業系ごみ収集運搬事業のお客様のごみ排出に関する取組みや、札幌市のごみ処理施設を紹介した情報誌、「アンパス」を平成22年1月に発行した。

オ ごみ減量やリサイクルの推進を図るため、各雑誌・新聞等に広告宣伝を掲載し、公社の事業に関するPRを行った。

(2) 各種イベントへの参加

ア 7月31日から3日間、アクセスサッポロで開催された「環境広場さっぽろ2009」へ出展し、事業系ごみ収集運搬事業・資源化事業・調査啓発事業に関して各種情報誌やパネル等の展示を行い、未来の地球とエネルギーを考える環境総合展に参加した。

イ 「第18回YOSAKOIソーラン祭」「第56回さっぽろ夏まつり」「かんきょうみらいカップ2009」「第30回すすきの氷の祭典」「第61回さっぽろ雪まつり」等のイベントに協賛した。

Ⅱ 資源化事業

決算額 943,765,571 円

1 びん・缶・ペットボトル選別事業

(決算額 724,770,460 円)

札幌市が平成10年10月から分別収集している家庭系及び公社が収集している事業系のびん・缶・ペットボトルの選別を行うため、当社が中沼のリサイクル団地と駒岡清掃工場隣接地に建設した両資源選別センターで、これら資源物の選別業務を札幌市からの受託事業及び自主事業として実施している。

中沼資源選別センターでは、札幌市が平成21年7月から「燃やせるごみ・燃やせないごみ」を有料化したことで、増加傾向となった家庭系資源物に対応するため、二交代制による運転を実施するとともに、繁忙期においては、搬入量などについて中沼と駒岡の両資源選別センターで調整を図りながら運転することで、資源物のより効率的な処理を行っている。

平成21年度の資源物の全体搬入量は35,108t（家庭系32,405t、事業系2,703t）であり、選別搬出された資源物はびん類8,903t（白びん3,635t、茶びん3,263t、その他びん2,005t）、缶類6,888t（アルミ缶3,184t、スチール缶3,704t）、ペットボトル6,885tであった。

選別された資源物は、次のようにリサイクルを図った。

- (1) びん類については、白・茶・その他びんとも、家庭系(市)の物は、指定法人ルートで再商品化事業者、事業系(公社)の物はリサイクル事業者へ引渡し再生利用を図った。
- (2) 缶類については、家庭系(市)及び事業系(公社)ともに、リサイクル事業者へ引き渡し再生利用を図った。
- (3) ペットボトルについては、家庭系(市)の物は指定法人ルートで再商品化事業者、事業系(公社)の物はリサイクル事業者へ引渡し再生利用を図った。

なお、駒岡資源選別センターの手選別業務については、知的障がい者に雇用の場を提供している。

【表-1 平成21年度 びん・缶・ペットボトル選別センター処理実績総括表】 (単位：t)

区分 月	搬入量			搬出量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボ トル	可燃物(袋 類)	不燃物残 渣	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	スチール	小計				
4月	2,444	221	2,665	264	235	146	645	211	283	494	542	335	436	2,452
5月	2,415	209	2,624	274	248	141	663	250	291	541	608	365	413	2,590
6月	2,664	246	2,910	287	273	189	749	252	325	577	589	387	519	2,821
7月	2,835	256	3,091	327	295	139	761	301	317	618	649	381	541	2,950
8月	2,800	241	3,041	287	287	161	735	298	319	617	645	344	520	2,861
9月	2,834	232	3,066	335	312	155	802	287	315	602	655	346	482	2,887
10月	2,543	231	2,774	321	309	149	779	273	307	580	597	316	503	2,775
11月	2,495	208	2,703	273	236	180	689	244	298	542	498	304	475	2,508
12月	2,651	244	2,895	333	277	150	760	269	332	601	538	371	579	2,849
1月	3,239	192	3,431	326	270	258	854	285	302	587	529	389	623	2,982
2月	2,527	199	2,726	288	228	155	671	226	278	504	458	293	466	2,392
3月	2,958	224	3,182	320	293	182	795	288	337	625	577	403	481	2,881
合計	32,405	2,703	35,108	3,635	3,263	2,005	8,903	3,184	3,704	6,888	6,885	4,234	6,038	32,948
比率	92.3%	7.7%	100.0%	11.0%	9.9%	6.1%	27.0%	9.7%	11.2%	20.9%	20.9%	12.9%	18.3%	100.0%

【表-2 平成21年度 びん・缶・ペットボトル選別センター別処理実績表】

中沼資源選別センター

(単位：t)

区分 月	搬入量			搬出量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボ トル	可燃物(袋 類)	不燃物残 渣	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	缶	小計				
4月	1,632	170	1,802	183	163	95	441	140	196	336	373	252	219	1,621
5月	1,628	159	1,787	192	177	104	473	177	203	380	431	289	225	1,798
6月	1,799	189	1,988	200	185	115	500	170	229	399	402	296	276	1,873
7月	1,806	197	2,003	214	197	85	496	206	222	428	433	298	288	1,943
8月	1,831	184	2,015	194	193	84	471	192	214	406	436	270	290	1,873
9月	1,786	177	1,963	224	210	109	543	200	218	418	449	269	232	1,911
10月	1,629	181	1,810	226	214	84	524	172	211	383	389	246	262	1,804
11月	1,594	155	1,749	189	161	110	460	158	202	360	337	233	252	1,642
12月	1,789	182	1,971	227	191	93	511	185	238	423	380	297	314	1,925
1月	2,261	146	2,407	231	185	172	588	200	216	416	377	320	370	2,071
2月	1,667	151	1,818	186	148	93	427	156	193	349	316	230	257	1,579
3月	1,933	170	2,103	221	202	116	539	192	236	428	399	330	257	1,953
合計	21,355	2,061	23,416	2,487	2,226	1,260	5,973	2,148	2,578	4,726	4,722	3,330	3,242	21,993
比率	91.2%	8.8%	100.0%	11.3%	10.1%	5.8%	27.2%	9.8%	11.7%	21.5%	21.5%	15.1%	14.7%	100.0%

駒岡資源選別センター

(単位：t)

区分 月	搬入量			搬出量										
	札幌市	公社	計	びん類				缶類			ペットボ トル	可燃物(袋 類)	不燃物残 渣	合計
				白	茶	その他	小計	アルミ	缶	小計				
4月	812	51	863	81	72	51	204	71	87	158	169	83	217	831
5月	787	50	837	82	71	37	190	73	88	161	177	76	188	792
6月	865	57	922	87	88	74	249	82	96	178	187	91	243	948
7月	1,029	59	1,088	113	98	54	265	95	95	190	216	83	253	1,007
8月	969	57	1,026	93	94	77	264	106	105	211	209	74	230	988
9月	1,048	55	1,103	111	102	46	259	87	97	184	206	77	250	976
10月	914	50	964	95	95	65	255	101	96	197	208	70	241	971
11月	901	53	954	84	75	70	229	86	96	182	161	71	223	866
12月	862	62	924	106	86	57	249	84	94	178	158	74	265	924
1月	978	46	1,024	95	85	86	266	85	86	171	152	69	253	911
2月	860	48	908	102	80	62	244	70	85	155	142	63	209	813
3月	1,025	54	1,079	99	91	66	256	96	101	197	178	73	224	928
合計	11,050	642	11,692	1,148	1,037	745	2,930	1,036	1,126	2,162	2,163	904	2,796	10,955
比率	94.5%	5.5%	100.0%	10.5%	9.5%	6.8%	26.8%	9.4%	10.3%	19.7%	19.7%	8.3%	25.5%	100.0%

2 ごみ資源化工場施設管理事業

(決算額 56,022,543 円)

札幌市から分割発注されたごみ資源化工場運営業務のうち運転・運搬業務の管理業務、及び搬入ごみの計量業務を受託し実施した。

(1) ごみ資源化工場管理業務

札幌市の処理計画に基づいてごみ資源化工場に搬入される木くず、紙くずなどの資源化ごみから不適物を除去し、ごみ種ごとに選別破碎後、圧縮成形して固形燃料を生産した。

平成 21 年度のごみ受入量は、計画量 26,500 t に対して実績受入量は 29,555 t であった。7 月から新たに家庭系雑がみ収集が開始されたことに伴い、雑がみ残渣を受入れたことから受入量は増加に転じたが、木くずは引き続き減少傾向にあり、前年度に比べ 15% 以上減少した。受入量の内訳は木くずが 4,369 t、紙くずが 18,477 t、廃プラスチックが 1,031 t、雑がみ残渣が 5,678 t である。

固形燃料の出荷量は、21,000 t を計画していたが、供給される電力を制限されたことにより 20,007 t であった。

また、生産した固形燃料は、全量を北海道地域暖房株に出荷している。

(2) 計量及びごみ処理手数料徴収業務

ごみ処理手数料をごみ搬入者から徴収する業務を行った。

ア 業務日 日曜日及び1月1日～3日を除く毎日

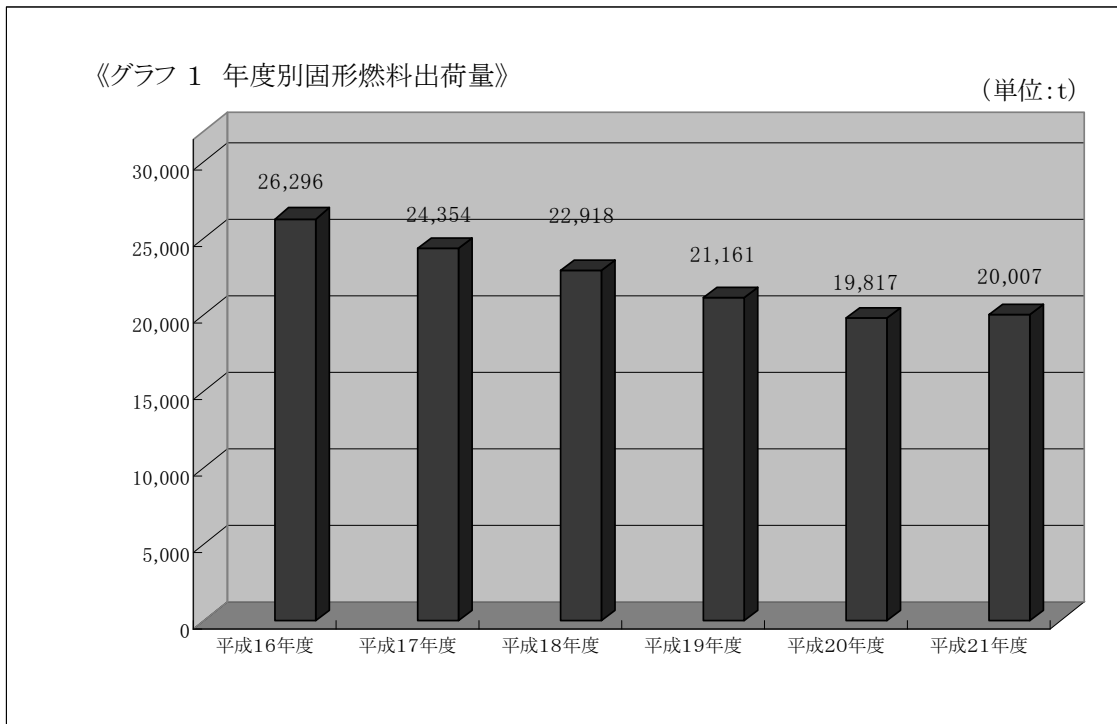
イ 業務時間 8時00分～17時00分

ウ ごみ処理手数料等

一般廃棄物処理手数料：	110 円/10kg
産業廃棄物処分費用	：110.2 円/10kg

【表-3 平成21年度 ごみ資源化工場処理実績表】 (単位:t)

月	ごみ受入量	固形燃料出荷量
4	2,043	2,406
5	1,748	1,438
6	1,772	979
7	2,704	1,291
8	2,257	1,329
9	2,987	446
10	2,588	1,203
11	2,911	2,371
12	3,346	2,478
1	2,203	2,024
2	2,204	1,767
3	2,792	2,275
合計	29,555	20,007



3 大型ごみ収集センター管理運営事業

(決算額 13,489,663 円)

札幌市の大型ごみは、平成9年10月からそれまでのステーション方式から電話申込みによる戸別収集に切替え、平成10年1月から有料制を導入した。

当社は、平成11年4月1日から大型ごみ収集センターの運営管理業務を札幌市から受託し現在に至っている。なお、平成21年度の業務実績は下表のとおりである。

- (1) 業務内容 大型ごみ収集センターの運営管理…大型ごみ・リサイクル品の収集受付及び総括調整
- (2) 業務時間 8時30分～17時00分
(受付9時00分～16時30分…NTT北海道レマート株式会社)
- (3) 業務日 土・日曜日及び年末年始を除く毎日
(NTT北海道レマート株式会社による受付業務は年末年始を除く毎日)
- (4) 業務場所 札幌市中央区大通西2丁目・NTT大通2丁目ビル5F
- (5) 平成21年度実績
 - ア 収集量 10,460 t
 - イ 受付件数 515,145 件 (うち問合せ185,575件)
 - ウ 収集件数 329,191 件
 - エ 収集個数 773,338 個

【表-4 平成21年度 業務実績表】

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
収集量(t)	1,391	1088	1246	1016	756	831	831	759	850	430	424	838	10,460
受付件数	61,537	53,283	71,006	42,579	39,156	40,196	41,030	40,011	38,393	23,433	21,720	42,801	515,145
収集件数	41,808	35,949	42,629	26,491	25,192	25,627	26,279	25,999	24,550	14,728	13,549	26,390	329,191
収集個数	104,343	90,186	104,644	61,855	57,727	59,403	59,657	59,363	52,542	29,432	29,667	64,519	773,338

【表-5 主な収集品目及び割合 (ベスト20品目)】

順位	品目	個数	割合 %	順位	品目	個数	割合 %	順位	品目	個数	割合 %
1	椅子	89,037	11.5 %	8	ストーブ	26,977	3.5 %	15	カラーボックス	13,775	1.8 %
2	布団	72,490	9.4 %	9	ベット	19,683	2.6 %	16	作業用具類	13,479	1.7 %
3	衣装箱	47,117	6.1 %	10	電子レンジ	17,951	2.3 %	17	たんす	12,727	1.7 %
4	自転車	39,427	5.1 %	11	子供遊具類	16,479	2.1 %	18	戸棚	12,638	1.6 %
5	スキー用品	38,674	5.0 %	12	ガスコンロ	14,890	1.9 %	19	ロッカー	11,558	1.5 %
6	カーペット	38,081	4.9 %	13	テレビ台	14,484	1.9 %	20	ホームラック	11,037	1.4 %
7	テーブル	30,683	4.0 %	14	ベットマットレス	14,160	1.8 %		その他	217,991	28.2 %

4 剪定枝等処理事業

(決算額 45,457,362 円)

平成20年10月から実施している当会社の自主事業で、公園や街路樹等から発生した剪定枝、伐採木等を破碎して、リサイクル業者及び酪農家等に販売し、堆肥や畜舎の敷きわら等に利用されている。

(1) 処理実績

平成21年度の処理実績は剪定枝など、5,254 tを受入して、篠路資源化センターのチップ工場破碎施設で大きさ約45mmの剪定枝等チップを生産し堆肥製造業者などに全量を出荷した。

【表-6 平成21年度 剪定枝等処理実績表】 (単位:t)

項目 月	剪定枝受入量	出荷量
4	286	306
5	237	322
6	354	403
7	550	462
8	434	492
9	660	421
10	874	427
11	569	483
12	679	495
1	187	576
2	206	566
3	218	605
合計	5,254	5,558

(2) 受入業務

剪定枝等の搬入者から受入料金及びリサイクル業者等への販売料金を徴収する業務を行った。

ア 業務日 日曜日及び1月1日～3日を除く毎日

イ 業務時間 8時00分～17時00分

ウ 料金 受入料金 119.7円/10kg
販売料金 500円/t (大口販売先 200円/t)

5 札幌市リサイクル団地管理事業

(決算額 19,663,762 円)

札幌市から札幌市リサイクル団地管理業務を受託し実施した。

札幌市リサイクル団地は、廃棄物の減量・リサイクルを総合的に推進するモデル的な廃棄物処理施設の集合体として計画され、札幌市が基盤整備を行い、処理施設は、民間処理業者・第3セクター・札幌市の3事業主体が、それぞれ建設・運営を行っている。

(1) 業務内容

- ア リサイクル団地の連絡調整等業務
- イ リサイクル資料館・ふれあいホールの維持管理業務
- ウ 井水供給設備の維持管理業務
- エ リサイクル団地内市道路の点検、清掃、除排雪業務
- オ その他管理業務

(2) 業務期間

平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日

(3) 業務場所

札幌市東区中沼町45番地 札幌市リサイクル団地

(4) 見学者実績

平成21年度のリサイクル団地の見学者実績は見学件数144件、見学者数4,799人であった。

【表-7 リサイクル団地見学者実績表】

項目 月	見学件数	見学者数
4月	3件	58人
5月	4件	84人
6月	9件	263人
7月	26件	603人
8月	18件	632人
9月	22件	1,092人
10月	29件	1,210人
11月	14件	638人
12月	7件	123人
1月	4件	30人
2月	5件	32人
3月	3件	34人
合計	144件	4,799人

6 中沼プラスチック選別センター施設管理事業

(決算額 27,927,767 円)

札幌市から中沼プラスチック選別センターの施設管理業務を受託し実施した。

同業務は、札幌市が別途発注する「運転業務」、「残さ運搬業務」の総括管理業務と、「容器包装リサイクル法」に基づき一般家庭より分別収集されたプラスチックごみのリサイクルを図るため、国が定める分別基準に適合するように、受入・選別・圧縮・保管・運搬等の各業務に係る管理・調整業務及び選別・圧縮梱包された容器包装プラスチック（ベール）を再商品化事業者等に引き渡す業務が主体となっている。

平成 21 年度のプラスチックごみ搬入量は 27,583 t で、札幌市の家庭ごみ有料化に伴い、前年度に比べ 26.0%の増加となった。

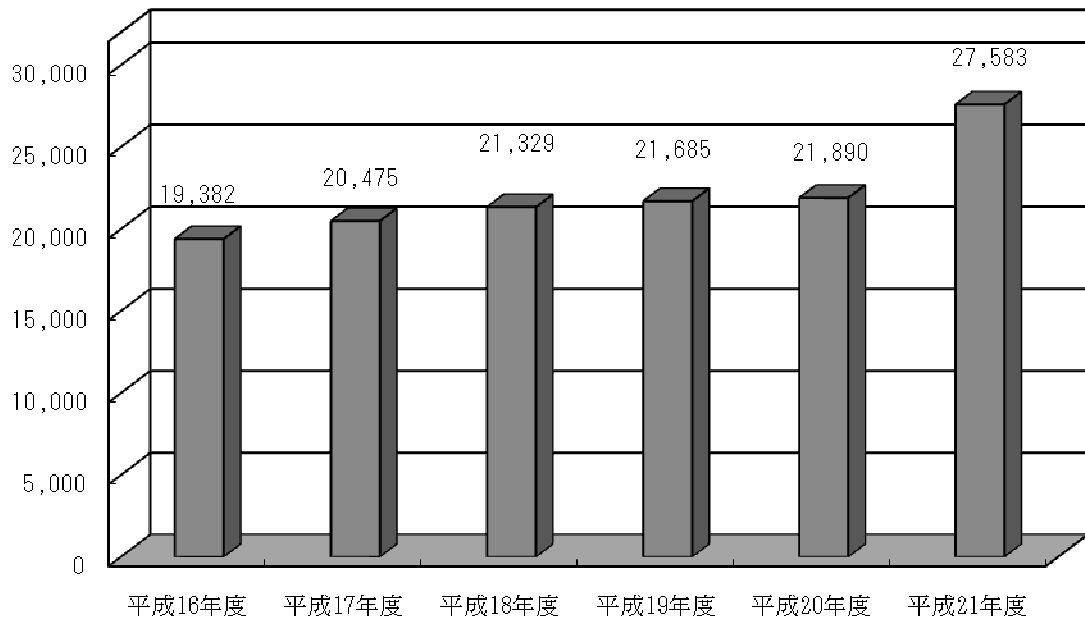
また、選別後に圧縮梱包されて再商品化事業者等に引き渡されたベールは 24,551 t で前年度に比べ 26.8%の増加となった。

【表－8 中沼プラスチック選別センター処理実績表】

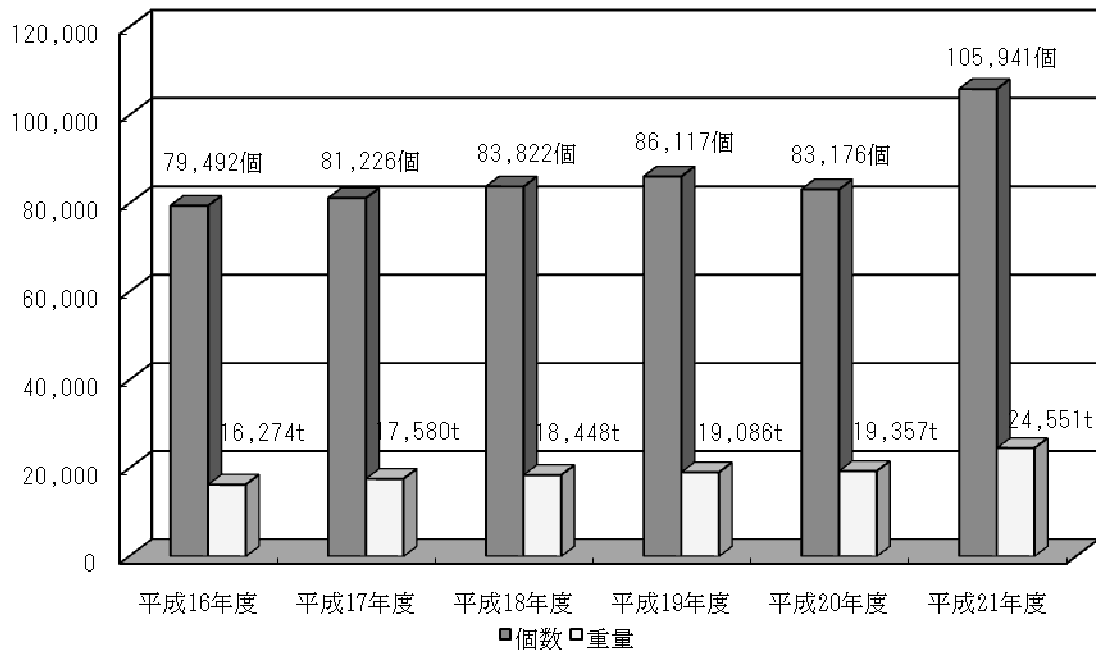
項目 月	搬入量(t)	ベール		残渣等搬出量		
		引渡量(t)	引渡数(個)	可燃(t)	不燃(t)	ペットボトル(t)
4月	1,965	1,626	7,320	38	27	15
5月	1,850	1,688	7,240	35	26	15
6月	2,086	1,856	7,900	47	30	16
7月	2,443	2,187	8,870	34	21	7
8月	2,315	2,134	8,440	36	21	6
9月	2,355	2,150	8,760	34	20	5
10月	2,288	2,194	9,440	36	23	5
11月	2,264	2,038	8,880	34	23	5
12月	2,422	2,171	9,900	42	27	6
1月	2,750	2,249	10,080	40	30	6
2月	2,234	1,878	8,500	33	24	5
3月	2,611	2,380	10,611	46	30	6
合計	27,583	24,551	105,941	455	302	97

《グラフ 2 年度別プラスチックごみ搬入量》

(単位：t)



《グラフ 3 年度別ベール搬出量》



7 中沼雑がみ選別センター施設運営管理事業

(決算額 11,808,609 円)

札幌市から中沼雑がみ選別センターの施設運営管理業務を受託し、平成21年7月から実施した。

中沼雑がみ選別センターは、札幌市の家庭ごみ有料化に伴い、同市がリサイクル団地内の旧建設系廃材リサイクルセンターの改修工事を行い、平成21年7月1日より稼働を開始した。

施設運営管理業務は、札幌市が別途発注する「運転業務」、「残さ運搬業務」及び「手選別業務」の総括管理業務と、「スリムシティさっぽろ計画」に基づき一般家庭より分別収集された雑がみを、主要古紙（新聞・雑誌・ダンボール・紙パック）とそれ以外の雑がみに選別してリサイクルを図るために、受入・選別・圧縮・保管・運搬等の各業務に係る管理・調整業務及び選別・圧縮梱包された主要古紙（Aベール）と雑がみ（Bベール）を再商品化事業者へ引き渡す業務が主体となっている。

なお、不適物を取り除く「手選別業務」については、知的障がい者の雇用を促進するために札幌市が福祉団体に業務を委託している。

平成21年度は、稼働開始当初から計画を上回る収集量と雑がみに含まれる主要古紙の割合が高く、その対応のため運転時間等の延長業務を札幌市が別途発注して処理業務を行った。

当センターでは、平成21年度は14,220tの雑がみの受入を行った。また、選別後に圧縮梱包されたAベール2,573tとBベール7,625tを再商品化事業者へ引き渡した。

【表-9 中沼雑がみ選別センター処理実績表】

項目 月	搬入量 (t)	ベール引渡 量						残渣 搬出量 (t)
		Aベール		Bベール		合 計		
		重量 (t)	個数 (個)	重量 (t)	個数 (個)	重量 (t)	個数 (個)	
4月								
5月								
6月								
7月	1,050	107	130	729	722	836	852	36
8月	1,648	234	308	1,199	1,253	1,433	1,561	100
9月	956	167	220	613	625	780	845	143
10月	1,150	237	308	640	702	877	1,010	283
11月	1,226	265	352	653	700	918	1,052	326
12月	1,944	373	528	730	768	1,103	1,296	660
1月	1,883	428	594	978	1,027	1,406	1,621	647
2月	1,890	347	462	839	883	1,186	1,345	591
3月	2,473	415	550	1,244	1,323	1,659	1,873	600
合 計	14,220	2,573	3,452	7,625	8,003	10,198	11,455	3,386

8 不燃用プリペイド袋リサイクル事業

(決算額 44,625,405 円)

札幌市内の少量排出事業所から排出される不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルなどのリサイクルを推進するため、篠路資源化センターに設置した手選別施設において、平成20年4月から試験的に手選別作業を開始し、平成21年4月から本格稼働している。

(1) 処理実績

平成21年度は不燃用プリペイド袋2,623tを受入し、26%に当たる673tのびん・缶・ペットボトルなどを選別してリサイクルを行った。

不燃用プリペイド袋に混入しているびん・缶・ペットボトルは一括選別後、中沼資源選別センターへ搬入して品目ごとに再選別、一斗缶等のその他金属はリサイクル業者へ売却、ビニール類等の軟質系プラスチック類は固形燃料の原料として再資源化を図った。

(2) 受入・運転業務

ア 業務日 土・日曜日及び1月1日～3日を除く毎日

イ 受入業務時間 8時00分～17時00分

ウ 運転業務時間 8時30分～17時00分

エ 資源物及び残渣運搬 コンテナ（フックロール）車で運搬

【表-10 平成21年度 不燃プリペイド処理実績表】 (単位: t)

項目 月	搬入量	資源物			残渣			合計
		びん・缶・ ペット	その他 金属	プラス チック類	可燃物	破碎	不燃物	
4月	224	43	9	2	154	9	7	224
5月	194	37	9	1	132	9	7	195
6月	226	45	11	3	146	13	7	225
7月	234	47	11	5	155	10	6	234
8月	210	42	9	4	133	13	7	208
9月	219	46	12	3	128	14	6	209
10月	220	49	12	4	145	12	8	230
11月	206	39	9	2	124	17	7	198
12月	267	44	13	2	161	16	6	242
1月	194	40	11	2	125	12	8	198
2月	191	41	9	1	113	12	6	182
3月	238	43	11	2	143	9	7	215
合計	2,623	516	126	31	1,659	146	82	2,560

Ⅲ 収集運搬事業

決算額 5,751,367,433 円

事業系ごみ収集運搬事業

事業系ごみの収集運搬事業は、事業系ごみの減量・リサイクルの推進等を目的に、平成6年4月より当公社が一元的に実施しており、平成21年度のごみ総収集量に対するリサイクルごみ収集量で算出するリサイクル率は23%となっている。

平成21年度のごみ収集量は、前年度比で2.5%の減少となっており、減少傾向が続いている。「びん、缶、ペットボトル」のリサイクル事業においては、多量排出事業所が他業者に移行しているため、重量ベースで前年度より4.5%の減少となっている。

平成21年度の伝票収集による契約件数は9,396件、プリペイド袋収集による平成21年度末の契約件数は21,776件となっている。

平成21年度のごみ収集量の内訳は次のとおりとなっている。

1 ごみ収集量について

- (1) ごみ収集量は、重量ベースで170,259 t と前年度172,417 t と比較して2.5%の減少、容積ベースでは、1,100,703^mと前年度1,177,057^mと比較して6.5%の減少となっている。
- (2) その内訳としては、一般ごみ（可燃用プリペイド袋等を含む）は、130,932 t と前年度の133,915 t に対して2.2%の減少、剪定枝、紙くず類等を含む資源化ごみは、収集量16,590 t で前年度の18,055 t に対して8.1%の減少、生ごみのリサイクルについては、収集量20,550 t で前年度20,447 t に対して0.5%の増加となっている。
- (3) びん、缶、ペットボトルの収集量は、2,187 t で前年度2,291 t に対して4.5%の減少となっている。
- (4) 家庭系パソコンのリサイクルは、パソコン本体等316台、ブラウン管ディスプレイ等125台の合計441台であった。
- (5) 少量排出事業所からの不燃用プリペイド袋の分別収集量（びん、缶、ペットボトル等リサイクル）は、2,623 t と前年度2,596 t に対して1.0%の増加となっている。

2 生ごみリサイクルについて

生ごみは、飼料化リサイクルセンター及び石狩市の生ごみリサイクル施設へ搬入し、リサイクルを行った。

また、札幌市教育委員会の「さっぽろ学校給食フードリサイクル」への協力のため、新たに27校の学校を増やし165校で生ごみリサイクルを実施した。

3 剪定枝リサイクルについて

剪定枝、幹、根などの樹木は、当公社の剪定枝等リサイクル施設へ搬入しているが、平成21年度の収集量は約130 t であった。

ごみ種別の収集量は表－1、排出先別の件数と収集量（容積）は表－2のとおりである。

【表-1 平成21年度 ゴミ収集量】

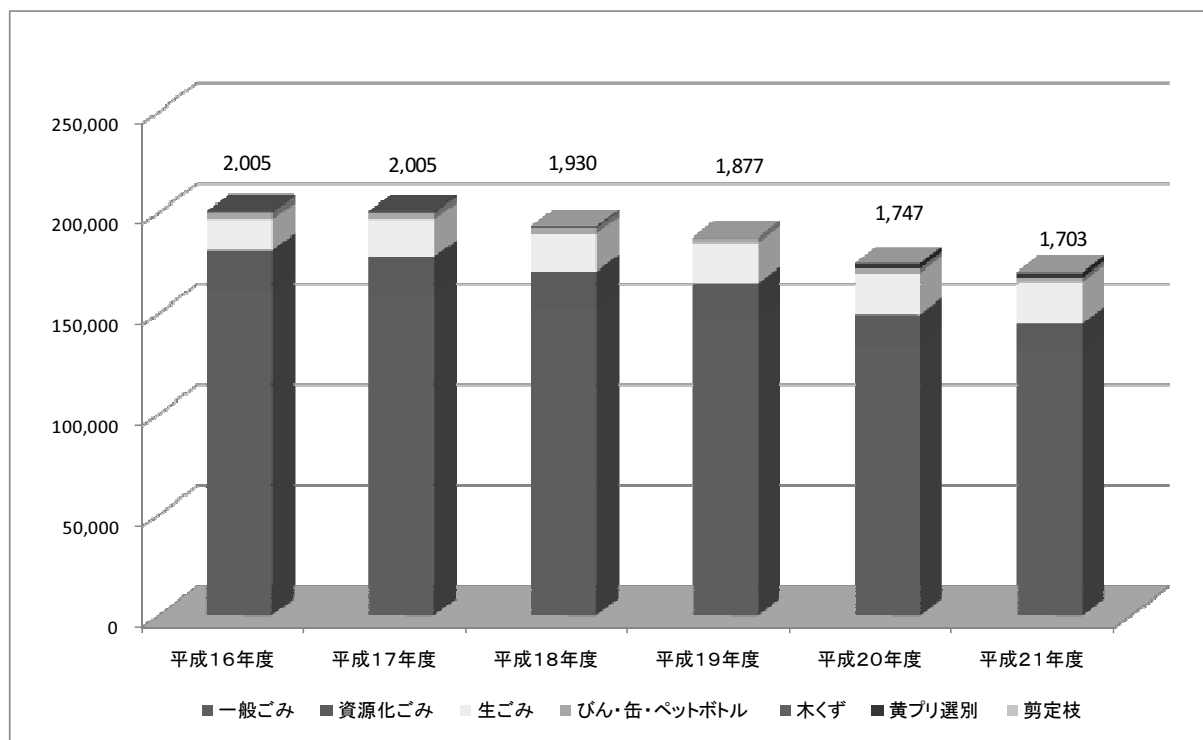
(単位: t)

項 月	総重量 (t)	内 訳					
		一般ごみ	資源化ごみ	生ごみ	黄プリア選別	剪定枝	びん・缶・ペットボトル
4月	14,034	10,610	1,404	1,614	225	3	178
5月	13,672	10,490	1,066	1,745	195	5	171
6月	14,579	11,199	1,162	1,778	226	13	201
7月	14,978	11,447	1,169	1,905	234	15	208
8月	14,471	11,632	1,020	1,404	210	6	199
9月	14,021	10,738	1,032	1,837	219	9	186
10月	14,480	11,065	1,127	1,872	220	14	182
11月	13,910	10,734	1,052	1,729	206	20	169
12月	15,605	12,052	1,341	1,704	266	43	199
1月	12,903	10,026	992	1,539	193	0	153
2月	12,691	9,588	1,060	1,693	191	0	159
3月	14,915	11,351	1,412	1,730	238	2	182
合 計	170,259	130,932	13,837	20,550	2,623	130	2,187
平 均	14,188	10,911	1,153	1,713	219	11	182

※生ごみは平成9年度から収集開始

《グラフ-1 ゴミ収集量 (重量) の推移》

(単位: 百 t)



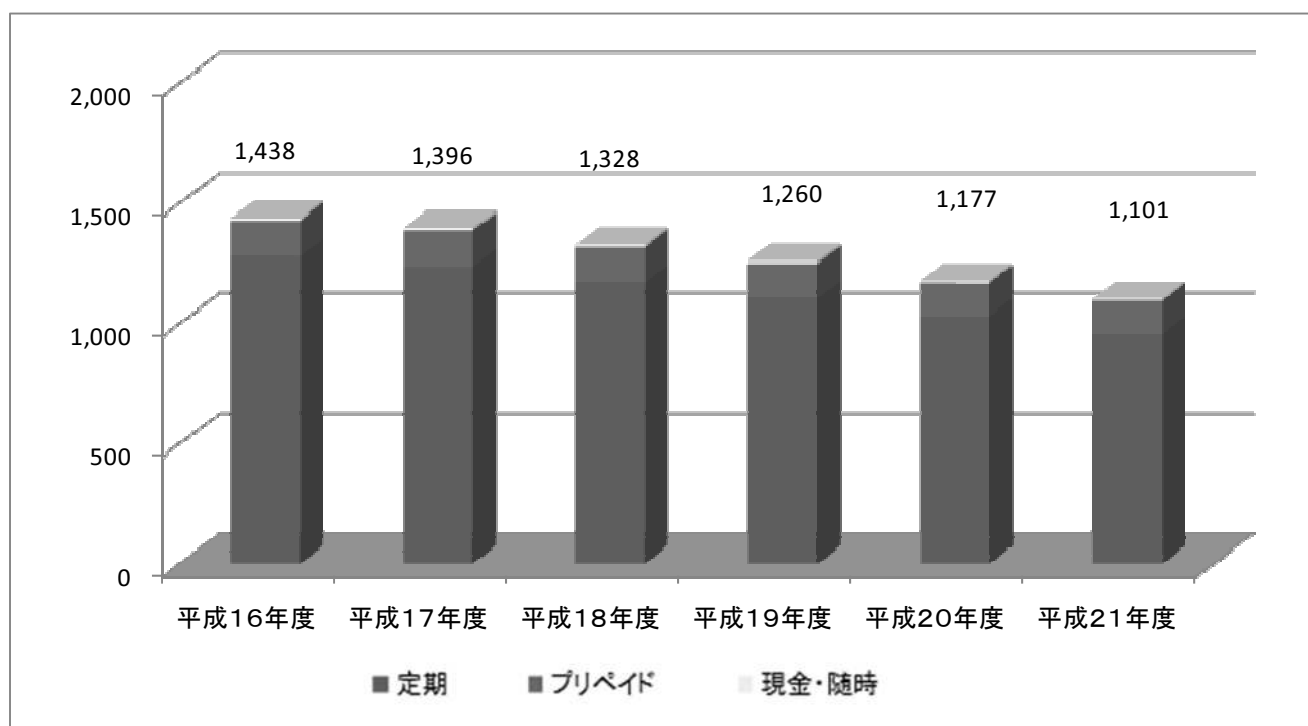
【表-2 平成21年度 排出先別件数とごみ量】

(単位: m3)

項 月	定 期		随 時		現 金		引 越 等		プ リ ペ イ ド 袋		合 計	
	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量	件 数	収 集 量
4月	9,495	83,883	92	311	123	92	51	125	21,008	11,338	30,769	95,749
5月	9,469	79,930	101	271	98	124	46	178	21,081	10,436	30,795	90,940
6月	9,475	82,546	111	1,131	139	122	54	136	21,250	11,484	31,029	95,419
7月	9,472	83,972	128	798	145	169	49	118	21,487	12,005	31,281	97,062
8月	9,402	80,136	85	161	194	241	56	146	21,604	11,424	31,341	92,108
9月	9,376	78,106	109	804	169	265	41	82	21,720	11,397	31,415	90,655
10月	9,380	81,681	85	391	122	90	52	143	21,771	11,867	31,410	94,172
11月	9,365	77,789	118	326	141	118	42	103	21,810	11,082	31,476	89,419
12月	9,368	85,271	101	504	148	100	47	126	21,807	12,816	31,471	98,818
1月	9,334	70,064	55	157	102	76	31	91	21,661	10,251	31,183	80,639
2月	9,288	69,895	85	386	97	73	32	59	21,699	10,224	31,201	80,636
3月	9,331	82,105	121	331	152	114	64	182	21,776	12,355	31,444	95,087
合 計	112,755	955,379	1,191	5,571	1,630	1,585	565	1,489		136,678		1,100,703
平 均	9,396	79,615	99	464	136	132	47	124		11,390		91,725

《グラフ-2 ごみ収集量(容積)の推移》

(単位: 千m3)



4 プリペイド袋の販売

少量排出事業所向けに、収集運搬・処分料金を含んだプリペイド方式のごみ袋の販売を行っているが、平成21年度の販売数は280,517セットと昨年度実績438,017セットに対して40.0%減少した。これは、平成21年4月からのごみ処理料金改定に伴う2月から3月における駆け込み先買いのための影響によるものである。

各販売実績は、表-3、表-4のとおりである。

【表-3 平成21年度 プリペイド袋販売実績表】 (単位：セット)

販 売 店	販売数(セット)	備 考
市 民 生 協	38,000	2 7 店 舗
セ イ コ ー マ ー ト	135,750	2 8 3 店 舗
す ず ら ん 物 産	40,290	—
市 庁 舎 販 売 店 等	6,324	1 2 店 舗
商 店 街 組 合 等	4,560	8 団 体
宅 配	50,040	佐 川 急 便
公 社 直 販	5,553	営 業 社 員 持 参
計	280,517	

【表-4 年度別 種別別プリペイド袋販売実績表】 (単位：セット)

項 年度	2 0 ㇿ		4 0 ㇿ		総販売数
	可 燃		可 燃	不 燃	
平成21年度	7,809		215,779	56,929	280,517
平成20年度	8,457		337,878	91,682	438,017
平成19年度	4,679		289,275	61,809	355,763
平成18年度	4,445		238,951	50,382	293,778
平成17年度	8,749		373,846	87,983	470,578
平成16年度	6,444		305,091	65,773	377,308
平成15年度	7,170		304,717	65,311	377,198
平成14年度	5,979		311,842	64,485	382,306
平成13年度	5,011		282,603	54,764	342,378
平成12年度	10,350		355,956	80,224	446,530